



one m.o.re

~ministry of reconciliation~

あなたに託されたもの

equipperconference'07

# ec って何？

## テーマ

one m.o.re  
~ministry of reconciliation~  
あなたに託されたもの

神は、キリストによって、私たちをご自分と和解させ、また和解の務めを私たちに与えてくださいました。  
コリント人への第 2 の手紙 5:18b

「和解」という言葉を聞いて、あなたは何を思い描くでしょうか？ 友達との仲直り…のような、身近な感じられるもの？ それとも、国家間の和平交渉…のような、自分とは遠く感じられるもの？ 聖書によると、実は、すべての人に「和解」が関係しているのです。

今から 2000 前、神さまは私たちとの関係を取り戻すために、ジーザスをこの地上に送られました。そして、その十字架を通して、私たちとの和解を申し出て下さいました。ジーザスと出会い、神さまからの和解の申し出を受けた私たちには、託されたものがあります。それが、m.o.re・・・ministry of reconciliation (和解の務め) です。

ec 07 を通して、神さまがあなたに託された『m.o.re』を探ってみませんか？

## 目的

equipper conference (ec) は、海外でジーザスに出会った日本人クリスチャンたちが、ジーザスの使節として祖国日本に帰国する前に、彼らを equip する (備える、整える: エペソ 4:12) ことを目的とした 5 泊 6 日のキャンプです。

エペソ人への手紙 4:11-13

「こうして、キリストご自身が、ある人を使徒、ある人を預言者、ある人を伝道者、ある人を牧師また教師として、お立てになったのです。それは、聖徒たちを整えて奉仕の働きをさせ、キリストのからだを建てあげるためであり、ついに、私たちがみな、信仰の一致と神の御子に関する知識の一致とに達し、完全におとなになって、キリストの満ち満ちた身たけにまで達するためです。」

今日、多くの日本人が、留学、海外勤務、国際結婚などの理由で、海外生活を送っています。その中で、海外生活の中で福音に触れ、信仰を持ち、帰国する人が多くいます。また、日本で信仰を持った人も、海外にいる間に信仰の成長を経て帰国していきます。彼らは、帰国後も教会につながり、家族、友人にキリストの愛を伝え、宣教のために用いられようとしています。

しかし、現実には、帰国者は予想以上の逆カルチャーショックを経験し、それがその人の信仰生活にまで及び、残念なことに帰国数年後に教会から離れてしまう人の数は少なくありません。

それをくい止めるため、ec は、複数の宣教団体が協力して始められました (詳しくは過去の ec を)。海外 (主に北米ですが) にいる日本人クリスチャンが、帰国する前に、キリストの弟子として使節として、神の愛を、赦しを、日本でも伝えることができるように、主から励ましを頂き、帰国に向けた訓練、キリストの弟子としての訓練を行うこ

とが、ec の目的です。

## **対象**

equipper conference 07 は、以下の人たちを対象に開かれます。

- 1) いずれ日本に帰国する日本人クリスチャン。
- 2) 帰国していく友達と共に主に仕える北米在住の日本人クリスチャン。
- 3) そんな日本人に仕えている日本人でないクリスチャン（イングリッシュ・スピーカー）。
- 4) 帰国者クリスチャンたちを受け入れ、助けたい日本在住のクリスチャン。
- 5) そのほか日本人宣教に興味のあるみなさん。

を対象にしています（詳細はプログラムを参照してください）。

## **日時**

equipper conference 2007(ec 07)

2007 年 12 月 27 日(木)より 2008 年 1 月 1 日（火）の朝まで。  
（詳細は、予定されているスケジュールをご覧ください）

## **場所**

Calvary Chapel Conference Center: <http://www.calvarychapel.com/mhs/>  
39405 Murrieta Hot Springs Rd., Murrieta, CA 92563, USA

ec 07 は、カリフォルニア州ロサンゼルス郊外のムリエタに位置するカルバリー・チャペルの修養会施設で開かれます。暖かく、開放的なキャンパスです。尚、施設内には、温泉、温水プール（屋外）が 12 月でも利用できます。

## **過去の ec**

1997 年、帰国していく日本人クリスチャンを励まし、主の働きのために整えるための修養会を行おう、というビジョンのもと、複数の宣教団体が協力し第 1 回目の equipper conference がワシントン州シアトルで開かれました。

過去の ec のテーマと主なスピーカー

- ec 97 「キリストと共に祖国へ」 中野雄一郎師（シアトルにて）
- ec 98 「収穫の地へ、さあ今！」 アーサー・ホーランド師（シアトルにて）
- ec 99 「キリストの使節として」 福沢満雄師（シアトルにて）

- ec 01 「イエスから目を離さないで」 高橋秀典師（南カリフォルニアにて）
- ec 02 「この喜びを祖国へ」 内田和彦師（南カリフォルニアにて）

ec 04 「You're God's Masterpiece:聖霊がきみをキリストに似たものにかたち造る」 佐藤彰師（南カリフォルニアにて）

ec 05 「love incarnated:これがきみの生きる道」 清野勝男子師（南カリフォルニアにて）

## 過去の参加者の声

「私は、この ec 前に来年日本に帰るかどうかが、導きを求めて、でもここで日本への重荷を与えられた気がします。今はやっと日本に帰ることに、平安与えられました。」

「私はアメリカで救われたクリスチャンですが、今日本に住んでいて、今回、私がクリスチャンとなった地に戻り、ec を通して語られ、宣教師として日本に帰って行くんだと自覚することができました。」

「いつもアメリカ人に囲まれた信仰生活を送っているので、日本人としての自覚を思い出せて、うれしかったです。」

「新しい気持ちで喜んで奉仕する機会が与えられて、感謝いっぱい！ たくさんの出会いがあってどれも大切で必要なものでした。日本でもっとクリスチャンを増やしていきたい!! 帰国者を日本の教会につなぐために働いていきたい。」

「同世代のクリスチャンたちに出会えて励みになり、信仰が強められ、そして神さまの栄光も表す人になりたいと思わしてくれました。」

「ec は、私のイエスさまへの献身の思いを新しくしてくれました。また、日本人を愛していきたいという思い、日本語をまた勉強したいという思いも新しくされました。」

「私はクリスチャンではありません。ec で私はたくさんの人と友達になることができました。今まで友達の事を割と軽めに考えていた私に、神さまがプレゼントしてくれた最高の贈り物だと思います。」

## 予定されているスケジュール

	2007/12/27 (thu)	2007/12/28 (fri)	2007/12/29 (sat)	2007/12/30 (sun)	2007/12/31 (mon)	2008/1/1 (tue)
7-8 am		デボーション(早朝祈り会もあります)				自由(朝食各自)
8-9 am		朝食				
9-10 am		スモールグループ・バイブルスタディ				
10:30-12 noon		朝の全体集会	朝の全体集会	朝の全体集会	朝の全体集会	
12-1 pm		昼食				
1-1:30 pm	受付開始(1pm~)					
1:30-2: 45 pm		ワークショップ	オブショナル・インタレスト・ミーティン	帰国プログラム	海外地域別集会	
2:45-4 pm		自由				
4-5:15 pm		ワークショップ	ワークショップ	日本地域別集会	ワークショップ	
5:30-6:45 pm	夕食					
7-9 pm	夕方の全体集会	夕方の全体集会	男女別集会	夕方の全体集会	夕方の全体集会	
9:15-10:30 pm	奉仕者ミーティング	スモールグループ	スモールグループ	スモールグループ		
10:30-12 am	スモールグループ					

## 講師紹介



### 米内宏明師

日本バプテスト教会連合 国分寺バプテスト教会 (<http://homepage2.nifty.com/kbch/>) 主任牧師。盛岡生まれ。京都での大学生時代、学内のクリスチャン活動を通し、みことばに触れ、クリスチャンとなる。卒業後、銀行に勤務。その後、父の死をきっかけに献身へ導かれ、神学校へ。奈良での開拓伝道牧師、埼玉でのユースパスターを経て、1994年に渡米。現在奉仕している国分寺バプテスト教会へ牧師として招聘され帰国。JCFN 常任理事。



### 安藤理恵子師

キリスト者学生会(KGK <http://www.hfj.com/kgk/>) 総主事。宮城県仙台市生まれ。保守バプテスト同盟バプテスト仙台北キリスト教会にて、高校2年時に受洗。東京大学文学部倫理学科卒業。1990年よりキリスト者学生会(KGK)主事、2007年より総主事として奉仕。全国の学生伝道の働きのために巡回の日々を送る。保守バプテスト同盟御徒町キリスト教会会員。聖書を読む会(SYK)理事。



### 高見澤栄子師

韓国トーチトリニティ神学大学院で宣教学部長・チャプレン、ソウルオンヌリ教会協力牧師。山梨県甲府市出身。学生時代に信仰をもつ。東京外国語大時代は聖書研究会の活動に没頭。その後、“神学教育をとおしてアジアの教会のために仕えよ”という召命を受け、ソウルのACTS神学校で牧会学修士(M.Div)を、シカゴのトリニティ国際大学で宣教学(Ph.D.)を学ぶ。日本国内では、JTJ宣教神学院の伝道学の講師や韓国オンヌリ教会の特別プログラム、「ラブソナタ」の講師など。



### 鍵和田哲男師

サンフェルナンドバレー・ホーリネス教会(<http://sfvhc.org/index.htm>)日本語部牧師。東京生まれ。中学校卒業後、自衛隊に入隊。21歳の時、召命を受け、自衛隊を除隊し、神学校に入学。1982年、カリフォルニア州 Hope International University に留学。卒業後、日本に帰国し、茨城県で牧会。1997年より、カリフォルニア州サンフェルナンドバレーホーリネス教会日本語部牧師として奉仕。

その他、全体集会、ワークショップなどプログラムのため、さまざまな講師が参加する予定です。

## 全体集会

300人以上の参加者が一堂に集まり、メッセージ・賛美・祈り・証などを通し、主から語っていただきます。

## ワークショップ

ec 07では、帰国準備や日本人宣教などのトピックに加え、参加者の必要・興味に合わせたワークショップを用意しています。

- 1) リーダーシップ・トラック (日本人クリスチャンリーダーとして、ミニストリーまた社会において、キリストを模範とし、みんなの模範となる、人に仕え愛し、助け導いていくことを学びます。)
- 2) グロウイング・トラック (日本語で神さまのこと、聖書をもっと学びたい、続けてもっと神さまとの関係を深めたい、神さまの設計図どおりに成長したい! という方向け。)
- 3) ノン・ジャパニーズ・トラック (日本人クリスチャンの成長を祈り仕えて下さっているイングリッシュ・スピーカーたち向けに、さらに効果的な宣教活動のための訓練のプログラムです。)
- 4) 帰国者受け入れトラック (日本に帰ってくる帰国者たちを受け入れ、彼らの心のうちを理解し、共に日本の救いのために労する方向けのプログラムです。)

そのほか、神さまを探している(または、キリスト教に興味があるだけ)の方、また高校生向けのプログラムも用意されます。

## **過去のワークショップのタイトル**

「みことばに生きる」、「日本での教会生活」、「日本の冠婚葬祭と教会の対応」、「弟子になるために」、「アウトリーチの始め方」、「週刊誌には書かれていない結婚について」、「日本文化の中で生きる聖書的リーダー」など。

## **スモール・グループ (SGs)**

大きなキャンプだからこそ、少人数で語り合うとき、励まし合うときを持ちましょう。

### **過去の参加者の声**

「みんなで輪になって、手をつないで、祈り合えたことが心強かった。励ましもたくさんもらって落ち着いた。今まであまり人には話したことがないことも話せたのが良かった。」

「すごいめぐまれました。スモールグループ内での祈りで本当に祝された。スモールグループなしではできなかったと思う。一人のためにひたすら祈る恵みを与えられた。日本人の信仰の友達がいなかった。でもできた。」

「スモール・グループで祈ったことがすばらしく ec 中に応えられ、共に祈る大切さ学びました。リーダーとしても鍛えられました。」

「最高にいけてる仲間に出会えた。いろいろなことを正直に語り合えた。スモール・グループ最高。」

## **使用原語について**

ec 07 は、原則的に日本語で行われます。全体集会については、英語の同時通訳 (ポータブル FM ラジオをご持参下さい。デジタルをお勧めします) があります。ワークショップは、英語のものもあり、一部通訳がつくものもあります。スモール・グループは、参加者の希望に合わせ、日本語と英語のものがあります。

## **費用と締め切り**

11月10日まで

学生: U\$325.00

社会人: U\$370.00

夫婦(一人当たり): U\$300.00

11月11日以降

学生: U\$345.00

社会人: U\$395.00

夫婦(一人当たり): U\$325.00

子ども料金(12歳以下)は現在調整中です。お問い合わせください。

経済的な理由で参加をあきらめないで! 奨学金を申し込むこともできます。お問い合わせ下さい。

## **申し込み方法**

### **郵送での申し込み**

申し込み書に記入の上、申込金 U\$80.00 (返金不可) もしくは参加費全額を、equipper conference までご郵送ください。残額は修養会当日にお支払い頂きます(受付は12月27日午後1時より)。

なお、申し込み書は一人につき一枚です。お子さまについても必ず申し込み書をご記入ください。(18歳未満のお子さまの場合、保護者の署名が必要になります。)

申し込み書はこちら

### **オンラインでの申し込み**

オンラインでの申し込みは、[こちらをクリック](#)してください(クレジットカード可)。

お申し込み頂いてから、コンファメーション、連絡事項、会場までの地図などをお送りします。

## **奨学金**

経済的な理由で、ec参加をあきらめないで下さい。

### **1. お祈りしましょう**

神さまは必要を満たして下さるお方です。過去のecにおいても、主が主権を持ち、必要を満たして下さり、参加が

可能になった方が多くいらっしゃいます。備えてくださる主に期待して、一步踏み出してみましょう。

## 2. 祈ってもらいましょう

周りにいるクリスチャンの友人、知人に、ec への参加の道が開かれるように共に祈っていただきましょう。具体的な必要を分かち合い、そのために祈ってもらいましょう。

## 3. ファンドレイズをしましょう

ファンドレイズのために、ec 07 オリジナルTシャツ・スウェットシャツを販売予定です。自分の奨学金に、あるいは、同じグループで来る仲間同士で、または、自分が参加できないけど、他の人たちのために、ぜひ、T シャツをファンドレイズのために使ってください！詳細は後ほど！！

そのほかのファンドレイズのご参考に、ファンドレイズマニュアルをご利用ください。  
[ファンドレイズの PDF マニュアルはこの PDF セクションの最後のページです。](#)

## 4. 奨学金をお申し込みください。

「彼は惜しみなく分け与え、貧しい人に施した。彼の慈しみは永遠に続く」と書いてあるとおりです。種を蒔く人に種を与え、パンを糧としてお与えになる方は、あなたがたに種を与えて、それを増やし、あなたがたの慈しみが結ぶ実を成長させてくださいます。あなたがたはすべてのことに富む者とされて惜しまず施すようになり、その施しは、わたしたちを通じて神に対する感謝の念を引き出します。なぜなら、この奉仕の働きは、聖なる者たちの不足を補うばかりでなく、神に対する多くの感謝を通してますます盛んになるからです。コリント人への第 2 の手紙 9：9～13

申し込み書に、奨学金希望額を書く欄がありますが、信仰を持って必要な額を書いてください。また具体的なこと（交通手段など）に関してはご相談下さい。費用がかさまない方法をアドバイスできるかもしれません。equipper@equipper.org まで。

## 日本からの申込について

### 1) オンラインでクレジットカードを利用して申込み場合。

本ウェブサイト上の「オンラインでのお申し込み」を使って、必要事項を入力し、「法的責任の承認と譲渡について」に同意し、申し込み金 80 US ドル、または全額をクレジットカードでお支払いください。申し込み金はその日の為替相場場で換算され、クレジットカードより引き落とされます。残金は当日会場で現金、小切手、トラベラーズ・チェックにて US ドルでお支払ください。（当日受付でのクレジットカード利用不可。）

### 2) 米ドル建ての小切手を使って支払いをされる場合。

「申し込み書」と「法的責任の承認と譲渡について」に記入し ec ウェブ、E メール、ファックス、郵送などで ec アメリカ本部に送付して頂きます。同時に小切手で申込金 80 US ドルまたは全額をご郵送ください。小切手は、郵便局などでマネー・オーダーとして作ることが出来ます。このときトラベラーズチェックや現金は決して送らないで下さい。残金は当日会場で現金、小切手、トラベラーズ・チェックにて US ドルでお支払ください。（当日受付でのクレジットカード利用不可。）

### 3) 日本窓口を通して日本円で申し込み場合。（申し込み書→US 本部へ 申込金→日本窓口へ）

「申し込み書」と「法的責任の承認と譲渡について」に記入し ec ウェブ、E メール、ファックス、郵送などで ec アメリカ本部に送付して頂きます。同時に手数料込みの申込金 10,000 円を JCFN 郵便振替口座にご送金ください。郵便振替口座番号:00100-8-565348 加入者名:JCFN 通信欄に「ec 申込金」と必ずご明記ください。残金は当

日会場で現金、小切手、トラベラーズ・チェックにて US ドルでお支払ください。(当日受付でのクレジットカード利用不可。)

【ec 日本窓口】〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 2-1 OCCビル内 JCFN

Tel & Fax: 03.5217.2505 E-mail: [nihon@jcfn.org](mailto:nihon@jcfn.org)

【ec アメリカ本部】equipper conference c/o JCFN 3590 Elm Ave., Suite H, Long Beach, CA 90807

Tel: 562.427.1783 Fax: 562.427.9028 E-mail: [ecregistration@equipper.org](mailto:ecregistration@equipper.org)

## **日本円での参加費**

申込金 80 ドル (日本窓口利用の場合 10,000 円) 日本円で申込むと割高になります。

11 月 10 日まで

学生: JP¥40,000

社会人: JP¥45,000

夫婦(一人当たり): JP¥37,000

11 月 11 日以降

学生: JP¥42,000

社会人: JP¥48,000

夫婦(一人当たり): JP¥40,000

## **航空券**

航空券の手配は個人でお願いいたします。

ロサンゼルス国際空港 (LAX) から ec 会場までは有料送迎があります。詳細は申し込み後にご連絡します。

## **現地参加について**

現地参加とは、会場の宿泊施設を利用しない (会場外から通う、或いは日帰り) 参加形式を意味します。

食事を会場でとる必要がなければ、現地参加は当日でも受け付けます。但し、食事の用意が必要な場合、12 月 8 日までにお申し込みください。参加費用に関しては、[ecregistration@equipper.org](mailto:ecregistration@equipper.org) までお問い合わせください。なお、参加費用の支払いですが、参加費用の合計が \$80 以上でなければ、オンラインでクレジットカードを使っての支払いができません。その際は、小切手(マネーオーダー)で ec アメリカ本部まで郵送ください。

## **ec 07 参加のための必要事項**

この必要事項を当日ご持参下さい。

### **1. 連絡先について**

12月23日(木)までは、スタッフが ec 07 本部にいますので、本部の方へ直接お問い合わせ下さい(562-427-1783)。カンファレンスの当日からは(あるいは本部と連絡がつかない場合)、562-682-6880、または、562-682-6879 までご連絡下さい。

## 2. 受付について

27日(木)午後1時より受付開始です。プログラムは、27日(木)の夕食に始まり、1月1日(日)のカウントダウンで終了です。現地参加者、部分参加者も、到着後、すぐに受付をしてください。なお、支払いについてですが、会場では ec 07 に関してはクレジットカードの使用は出来ません。米ドル現金、小切手、または、トラベラーズチェックは利用できます。(修養会会場経営のブックストアでは利用できます。)

## 3. ブックストアについて

ec 07 中、主に日本語のキリスト教書籍販売をします。信仰書、バイブルスタディーのガイドなど、各社、各団体、著者からのご好意で、格安で書籍を販売することが出来ました。是非、ご利用ください。こちらもクレジットカードはご利用できませんので、現金、小切手、または、トラベラーズチェックでの支払いをお願いいたします。

## 4. 持ち物について

南カリフォルニアとは言え、朝夕は冷え込みます。暖かい上着などご持参ください。

温泉があります。入浴を希望される方は、水着をお忘れなく。温泉の水が強いので水着などが変色する恐れがありますのでご了承下さい。

日本語から英語への同時通訳の必要な方は FM ラジオ(なるべくデジタルラジオ)ご持参ください。

洗面用具、着替え、聖書、筆記用具、他必要なもの。

なお、タオル・シーツ、枕、は施設に設置されています。

## fundraising manual for ec 07

「彼は惜しみなく分け与え、貧しい人に施した。彼の慈しみは永遠に続く」と書いてあるとおりです。種を蒔く人に種を与え、パンを糧としてお与えになる方は、あなたがたに種を与えて、それを増やし、あなたがたの慈しみが結ぶ実を成長させてくださいます。あなたがたはすべてのことに富む者とされて惜しまず施すようになり、その施しは、わたしたちを通じて神に対する感謝の念を引き出します。なぜなら、この奉仕の働きは、聖なる者たちの不足を補うばかりでなく、神に対する多くの感謝を通してますます盛んになるからです。

第2コリント9：8～13

**equipper conference 07 (ec 07)** への参加を呼びかけている、各地域のリーダー、コンタクトの皆様、

主の御名を心から賛美致します。

毎年、ec への参加を呼びかける上で、経済的な問題が障害となります。開催地から遠く離れた参加者にとっては、交通費・参加費合わせるととても大きな金額となり、そのため、「遠いからね～、ちょっと行けないね～」という声を恐れ、誘うのを躊躇してしまうこともあると思います。しかし、主は恵み深い方です。そして、**前もって計画的に資金調達に動けば、個人負担をできるだけ押さえつつ、多くの方の参加を可能にすることは、決して困難ではありません。**このマニュアルは、一人でも多くの参加者が起こされるよう、祈って行動する、各地域のリーダーたちのために用意されています。

神様は私たちの必要をご存知であり、それを満たして下さるお方です。励ましを必要としているクリスチャン、また興味を持っている求道者の方が、ec に参加することが主の御心であれば、必ず主は参加を実現させていただきます。主を信頼し、行動に出ましょう。

しかしながら、ファンドレイズの経験がない場合、「果して誰が献金してくれるのだろうか」と不安になったり、また奨学金を受けることについて申し訳なく思ったりすることが、自然な反応であることも事実です。そこで、以下の点に、留意してください。**ファンドレイズは、サポートを求める側（私たち）と捧げてくださる方々（日本人宣教に重荷のある兄弟姉妹たち）の両方を通した主の業です。両方に、神様からの恵みと愛が溢れます。**ec は日本人だけの働きではありません。重荷を与えられたキリストの体の各部分がそれぞれの機能を果たすとき、主が ec を通し大きく働かれ、主の栄光が現れるのです。

ec に向けたファンドレイズに取り組む上で、助けになればと思い、このマニュアルを作成しました。主が既に備えてくださっている支援者の方々への祝福を心から祈り、また与えられたサポートを感謝して受け、そして、必要とする者達が満たされ、主が望まれている方たちが修養会へ参加できるように、祈りましょう。

### Table of Contents

1. ファンドレイズの目的
2. 具体的なファンドレイズの方法（教会・集会での証、ディナー、ガレッジセール、etc.）
3. 奨学金の取り扱いについて（ec 登録に関わる事務の簡略化・税控除の扱いなど）
4. その後（ec 後の感謝報告など）

## 1. ファンドレイズの目的

### 経済的な理由から修養会参加を断念してしまう人がないように

1人でも多くの兄弟姉妹が、修養会の恵みの座に集えるよう、主が備えて下さる事を祈り求めましょう。

### 各地域の必要のために

本年は、学生\$325、社会人\$370、夫婦\$300 (11月10日迄) という参加費が設定されています (第一次締切以降は学生は\$20増し、その他は\$25増し)。参加者一人一人の状況は異なります。遠隔地は交通費が高くなります。従って、それぞれの地域が自主的に資金を募ることが、それぞれの必要に最も柔軟且つ早急に対応することにつながります。「自主的」と書きましたが、ファンドレイズのノウハウや、PR資料などを提供したり、祈り励ましたり、実行委員会もできるだけのお手伝いをさせていただきます。

### 修養会全体の必要のために

尚、まわりに助けしてくれるクリスチャンがいないため、十分なファンドレイズをできない地域の方もいらっしゃいます (毎年、日本人が、クリスチャンが少ない地域から、小人数で参加される方々がいらっしゃいます)。また、修養会直前に、経済的必要が満たされることを条件に、信仰をもって参加を決定するケースもあります (たとえどんな方法であっても主が、主権の故、参加者を ec に送ってくださるなら、とても感謝なことです)。

ですから、**地域毎に調達する資金のうち、いくらかを ec 全体の奨学基金アカウントへ捧げて頂ければ**、本当に感謝です。過去にも異なる地域からの奨学金献金により、参加が可能になり、二重に主の恵みを感じ励ましを受けられた方がいらっしゃいました。

- \* 各地域毎、ファンドレイズのために祈り備える。(まず集まって祈りましょう。そして計画しましょう)
- \* 各地域に日本人・留学生宣教に重荷を持った方がいらっしゃいます。(その方たちにどうアプローチしていくか、主に知恵を頂き、作戦を練りましょう)

## 2. 具体的なファンドレイズの方法として

### a. 教会、個人への呼びかけ

具体的な例

- ① **サポートレイズレター**の作成
  - 地域の教会用
  - 個人用

北米の日系教会・神学校・宣教団体には ec 本部より、フライヤーと献金のお願いを発送します。あなたの地域の教会・団体に関しては、お問い合わせください(レターを送ってほしい教会や団体があったら教えてください)。

- ② **教会の Mission Committee** (どの教会にもたいがいあります。教会の予算から海外宣教にどれだけ献金するか、どの宣教師をサポートするか、教会から宣教チームを送り出すこと、などを決める委員会のことです。まずここにコンタクトできればよいと思います) や、**礼拝、祈禱会、サンデースクール等** (当然、礼拝の方が出席者が多いですが、祈禱会やサンデースクールの方が時間をもらえます。サンデースクールによっては、毎週のテーマやゲストを探していたりすることもありますから、早めにコンタクトできればよいと思います。主が道を開いてくださることを祈ります!) で証させて頂くという方法があります。

日系教会・その他の教会 (日系以外では、海外宣教に関心が高かったり留学生伝道に熱心な教会が興味を持って聞いてくれます。留学生宣教に関わっている宣教師の方に知り合いがいれば、その方に教会を紹介してもらうといいと思います) の礼拝・日曜学校・祈禱会にコンタクトし、ecに関するプレゼンを行い、お祈りと献金を募ります。

過去の ec の写真、ビデオ、パワーポイント (お問い合わせください)、過去の参加者の証 (救いの証、ec で励ましを受けた証など)、スキット、日本語の賛美などが、プレゼンの内容として考えられます。

北米の兄弟姉妹 (日本人でない方) に、主が日本を愛し、北米の日本人の間で働かれ、整えて日本の地に送り返して下さっていることを証できれば、すばらしいと思います。彼らへの励ましにもなると思います。留学生を愛し、仕えて下さっている兄弟姉妹に感謝する機会でもあります。

- b. **日本人クリスチャンの集会 (JCFN 地域集会その他)** で修養会奨学金のために献金を募る。同時に ec のために祈るときを持つことができたらすばらしいです。
- c. **ガレージセール** などにより、自分達でレイズする。

具体的な例

① ガレージセール

- 1) 場所の確保
- 2) 品物収集 → どこに呼びかけるか?
- 3) 新聞等へ広告を出す。
- 4) 実際の奉仕の分担
- 5) 開催日 → 土曜日、金曜日  
コソ。朝なら (早い方がよい) 土曜日、午後なら金曜日の方が人が入ります。

② フードセール (食べ物を売る)

- 日本食等の food delivery をする。
- ・ 日持ちするもの
  - ・ 手荒に扱っても大丈夫なもの等がよい。
- Ex. デンバーでは、かつて肉まん、あんまん、餃子などのデリバリーを行いました。

ファンレイズ用の食べ物なども売っています。(Krispy Kream のドーナッツなど) 経験者に相談してみてください。

③ サポートレイズディナーを開く (上記の教会での証に食事をつけるような感じ)

日本食、修養会の証等のプログラムを立て、サポート可能な方々を招待する。

その他様々な方法があります。みんなで相談して素敵なアイデアが出てくるといいですね。

### 3. 集められた奨学金の取り扱いについて

1) equipper conference 本部を通す場合

献金の領収書など TAX deductible (税控除) にする為の書類が必要な場合は、equipper conference を通す事が出来ます。

<方法>

① 献金する方に、equipper conference 宛に小切手(check)を切ってもらって下さい。

もしくはその献金を一度誰かの口座へ入金し、その人が ec 宛に check を切るようにして下さい。

<Check 送付先>

equipper conference  
c/o JCFN 3590 Elm Ave., Suite H, Long Beach CA 90807

- ② JCFN から献金者へ領収書が届きます。
- ③ 地域でファンドレイズをする場合「奨学金内訳表」を ec へ提出して下さい。  
\* 表 別紙参照

2) equipper conference を通さない場合

- ・ 集められた献金を、地域ごとに管理して下さい。
- ・ 修養会当日までに、地域ごとに奨学金の割振りを済ませ、現地では**決められた参加費**をお支払い下さい。

<応用編>

1 枚の check に関し、複数の領収書が必要な場合、或いは check の金額の一部だけに関し、領収書が必要な場合。

ec 宛に check を切り、送る際、その内訳 (各領収書の金額、宛先に応じて) を明記してください。当日の登録時の混乱を避けるためにも、早めにこの情報を送ってください(12/10迄)。

連絡先 : ec 本部 562.427.1783

ご存知の通り、11 月 10 日を過ぎると、参加費は割増になりますし、航空券の価格も当然上昇します。できるだけ早く、計画を立て実行に移すことが重要です。

#### 4. 感謝の報告

ぜひ、修養会后、サポートして下さった方々へ、修養会で得た恵みと感謝の報告をしましょう。

訪ねた教会・集会で、謝意を述べ、励ましを受けた参加者の証をシェアすることができれば、次の年にもつながります。祈って楽しみにしてくださっている兄弟姉妹がいることを覚えてください。サポートして下さるネットワークを主が建てあげてくださることを祈っています。個人で献金して下さった方にも報告をしてください。

同時に、教会などからサポートを受け修養会に参加する人たちの言動を、教会の方々もそれぞれ見えています(特に日系の教会)。奨学金がほしいと言ってくる参加者に対し、「なぜ奨学金を受けられるのか」ということをきちんと説明しましょう。「本当にお金がなく、飛行機で年末旅行なんてとんでもない」という人もいれば、「遊ぶお金はあるけど、修養会は奨学金をもらっていいや」という人もいるかもしれません。捧げられるのは、貴い献金です。受け取る側の参加者(特に学生)の意識をきちんとしないと、次から献金が頂けなくなることもあります。参加者一人一人の心が備えられるよう、私たちもお祈りしています。

捧げて下さる方々への祝福を心から祈り、また与えられたサポートを感謝して受け、必要とする者達が満たされ、一人でも多く修養会への参加が可能となるように、祈りましょう。

いつでもご相談にのります。一緒に祈って応援します。ご連絡ください。

中村千尋

本マニュアルは、ec 02 用に尾上、森作で製作したものを 07 年用に中村がアップデートしました。

equipper conference  
562.427.1783  
equipper@equipper.org  
www.equipper.org

## 祈ってください

「すべての祈りと願いを用いて、どんなときにも御霊によって祈りなさい。そのためには絶えず目を覚ましていて、全ての聖徒のために、忍耐の限りを尽くし、また祈りなさい。」 エペソ人への手紙 6:18

私たちは、ec 07を企画し、実行するにあたって、主により頼みたいと思います。準備期間、参加を考える人、その人たちのまわりの教会、家族、友人、全ての人たちの人生で、また修養会中、その後の人生を通して、主が最善を行ってくださるよう、ともに祈りましょう。

### **祈りの勇士** (執り成しの祈りのチーム)

ec 07 のために、特別にコミットして祈りたい、一人一人の参加者のために祈りたい、という方は、ec 07 開催前より、執り成しの祈りをささげましょう。お問い合わせは、[equipper@equipper.org](mailto:equipper@equipper.org) まで。

### **Pray for ec (祈りの課題)**

ec 07 を通して神さまの御業がなされますように: ec は人の手によるものではなく神さまによるものです。その通りになりますように。

実行委員会のために: ec の運営はボランティアによってなされています。各実行委員の奉仕が神さまによって導かれますように。

全ての必要が満たされますように: 特に奨学金のための経済的必要や祈り手達が与えられますように。

参加者が与えられますように: 神さまが送りたいと思っている方が一人としてもれることなく、参加できますように。

ec 07 の会場となる Calvary Chapel Conference Center が祝福で満ち溢れますように。

## いっしょに ec 07 をつくりましょう。

主が ec の働きを始められてから、多くのボランティアの方を通して、参加型の手作りの修養会が行われてきました。海外にいる日本人クリスチャンを帰国に向けて備える ec 07 にて次のかたちで、あなたの助けが必要です。

### **奉仕**

申し込み書にもチェックする欄がありますが、以下の分野で奉仕者を必要としています。ともに主に、主の愛する参加者に仕えましょう!

アッシャー (全体集会): 献金・聖餐式などのお世話をします。

祈り: 修養会を祈りで支える執り成し手と、修養会中に祈りを導く奉仕です。詳しくは祈ってくださいを参照。

パワーポイント技術者: 賛美を初め、全体集会のプログラムを操作できる方。

ビデオ撮影: 修養会の様子を映像に収める技術者が必要です。

カメラ: 写真を撮影する奉仕者。(一眼レフ持参で、腕に自信のある方、お願いします)

賛美チーム: 全体集会で参加者の主への賛美を一つにする奉仕です。

通訳: 全体集会やワークショップでの同時通訳の奉仕です。

聖書朗読: 迫る臨場感と、豊かな表現力で、聖書の場面を再現してください。

信仰の体験談 (formally known as 証): 全体集会で、主がしてくださったすばらしいことをシェアしてください。主に栄光を帰すパフォーマンス: 過去には、ダンス・演歌などがありました。

救護チーム: 救護の資格のある方と、サポートができる方 (別途 2~3 名)

受付: 当日、空港より殺到する多くの参加者の必要に素早く応える大切な奉仕です。

(12月26日、遅くとも27日の午前中に会場入りできる方を最優先します。応相談。)

送迎: 現地で交通手段を提供できる方、空港にて参加者を案内できる方を探しています。お祈り下さい。

送迎案内: 空港での出迎え

チャイルド・ケア: お母さんお父さんたちが、全体集会・ワークショップに参加できるようにする大切な奉仕です。

書籍販売: 本屋さんの管理をできる方、店頭販売のシフトに入れる方。

音響: 全体集会で PA を担当する方。

スモールグループ・リーダー: 6人のSGで、一人一人の参加者を愛し、励まし、ともに祈る奉仕です。

ワークショップ・ヘルパー: 各ワークショップの録音、アンケート実施などをお願いします。

## **献金**

経済的な理由で参加が難しい方のための奨学金の必要、ec 運営の必要があります。「神は喜んで与える人を愛して下さいます。」第2コリント 9:7 献金はこちらまで。

make a check payable to: equipper conference

送り先: equipper conference, c/o JCFN, 3590 Elm Ave., Suite H, Long Beach, CA 90807 USA

## **PR**

ec 07 に興味がありそうな方、団体に、ec のニュースを広めてください!

### **プロシユア**

### **PR DVD**

PR DVD をご希望の方に、お送りします。お問い合わせください。

PR に関するお問い合わせは、[equipper@equipper.org](mailto:equipper@equipper.org) まで。

## **ファンドレイズ**

毎年、ec への参加を呼びかける上で、経済的な問題が障害となります。開催地から遠く離れた参加者にとっては、交通費・参加費合わせるととても大きな金額となり、そのため、「遠いからね～、ちょっと行けないね～」という声を恐れ、誘うのを躊躇してしまうこともあると思います。しかし、主は恵み深い方です。そして、前もって計画的に資金調達に動けば、個人負担をできるだけ押さえつつも、多くの方の参加を可能にすることは、決して困難ではありません。興味がありそうな教会や宣教団体を訪ねて献金を依頼したり、ファンドレイズ・イベントを開くことに関してアドバイスできます! 主は私たちの必要をご存知であり、それを満たして下さるお方です。励ましを必要としているクリスチャン、また興味を持っている求道者の方が、ec に参加することが主の御心であれば、必ず主は参加を実現させていただきます。主を信頼し、ともに行動に出ましょう。お問い合わせは、[equipper@equipper.org](mailto:equipper@equipper.org) まで。

## **飛行機で**

利用空港と送迎 (有料。希望者のみ)

ロサンゼルス国際空港(LAX: <http://www.lawa.org/lax/welcomeLAX.cfm>)をご利用下さい。LAXより会場までの送迎を有料で行いますので必要な方は申し込み書にその旨をご記入ください。

空港から会場まで3時間程かかる可能性がありますので、できるだけ、27日午前中に到着、帰りは1月1日午後以降に出発する飛行機をご利用下さい。

ロサンゼルス国際空港から会場までの送迎は必要ですか？送迎の必要な方は、必ず送迎を申し込みし、12月13日(月)までに飛行機の情報を [ecregistration@equipper.org](mailto:ecregistration@equipper.org) まで、必ずお送り下さい。送迎は有料です。当日空港の係りの者にお支払い下さい。(クレジットカードでの支払いは出来ません。)費用についてはお問い合わせください。

### **空港での待ち合わせ場所**

待ち合わせ場所ですが、どの航空会社をご利用になられても同じ場所で集合していただきます。

ロサンゼルス国際空港の Tom Bradley International Terminal の到着レベルの真中辺りにある出口にお越しください。このの出入り口の前で係りの者がお待ちしており、そこからバス/車にて会場までご案内致します。

(注意)Terminal1, 2, 5, 6, 7 に到着される方は、空港内の無料シャトルサービスをご利用ください。それぞれのターミナルの到着レベルにあるバゲージクレームから外に出ると、「LAX Shuttle & Airline Connections」のサインがあります。そこから巡回シャトルバス「A」に乗り、Tom Bradley International Terminal までお越しください。Terminal 3 に到着される方はバゲージクレームを出て右側へ、Terminal 4 に到着される方はバゲージクレームを出て左側へ徒歩で進んでいくと Tom Bradley International Terminal に到着出来ます。詳しくは、空港の地図をご覧ください。

当日はバス/車での運行となり、場合によっては空港で多少お待ち頂く事もありますのでご了承ください。

## **車で**

英語のディレクションと地図は: <http://www.calvarychapel.com/mhs/>

### **日本語ディレクション**

Orange County (OC) より

ハイウェイ 91 号を Corona 方面へ。I-15 South (San Diego 方面) に乗り換え。そのまま約 40 分走り、Elsinore を過ぎて、Murrieta Hot Springs Rd.を East (左) で I-15 を降りる。そのまま約 1 マイル (1.6 キロ) 行く。途中で I-215 を横切る。会場は左手に見える。Margarita で左折。

Riverside より

I-215 を South へ約 40 分ほど走ると Murrieta Hot Springs Rd.が現われる。Murrieta Hot Springs Rd.で East (左) に降り、そのまま約 1 マイル (1.6 キロ) 行く。会場は左手に見える。Margarita で左折。

San Diego より

I-15 North に乗り、Escondido, Fallbrook, Temecula を過ぎる。I-215 (Riverside 方面) に乗るために、ハイウェイが分かるところで右のレーンに。I-215 に乗ったら、0.5 マイル (0.8 キロ) 行き、Murrieta Hot Springs Rd. で East (右) に降り、そのまま約 1 マイル (1.6 キロ) 行く。会場は左手に見える。Margarita で左折。

## **お問い合わせ**

申し込みに関するお問い合わせ: [ecregistration@equipper.org](mailto:ecregistration@equipper.org)

その他のお問い合わせ: [equipper@equipper.org](mailto:equipper@equipper.org)

equipper conference c/o JCFN

3590 Elm Ave., Suite H

Long Beach, CA 90807

Phone: 562.427.1783

Fax: 562.427.9028